



第25回上田八木・金融政策サーベイ(2019年1月)

発表日：2019年1月21日（月）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2019年1月16～18日
調査先	192先
回答率	89.6%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（1月22日～1月23日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回12月18日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	0	+1
不変	99	100	▲1
引締	0	0	+0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	0	▲1

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月18日)	変化幅
低下	2	2	+0
不変	94	92	+2
上昇	4	6	▲2
短期金利予想DI	+2	+4	▲2

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月18日)	変化幅
低下	3	4	▲1
不変	88	85	+3
上昇	9	11	▲2
2年国債金利予想DI	+6	+7	▲1

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月18日)	変化幅
低下	4	5	▲1
不変	72	62	+10
上昇	24	33	▲9
10年国債金利予想DI	+20	+28	▲8

質問(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回12月18日)	変化幅
1. 1年未満	3%	3%	+0%
2. 1年以上3年未満	56%	66%	▲10%
3. 3年以上	41%	31%	+10%